

製品名: Oct1(7G1)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM15099**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	89kDa

抗原情報

遺伝子名	POU2F1
別名	
遺伝子 ID	5451/5452
SwissProt ID	P14859/P09086
免疫原	42644 の合成ペプチド

背景

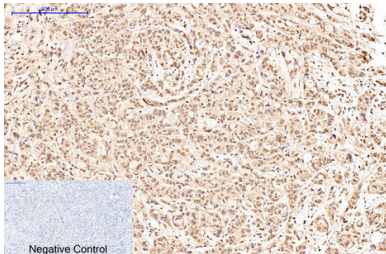
OCT1 転写因子は、POU 転写因子ファミリー (Sturm et al., 1993 [PubMed 8314572] によって要約) で最初に同定されたメンバーの

一つです。このファミリーのメンバーは、DNAが八量体配列 ATGCAAAT に結合するために必要な 160 アミノ酸からなる POU ドメインを含みます。[OMIM 提供、2010 年 7 月],機能: 八量体モチーフ (5'-ATTGTCAT-3') に結合し、一部の低分子核 RNA (snRNA) 遺伝子、ヒストン H2B 遺伝子、免疫グロブリン遺伝子などのプロモーターを活性化する転写因子。NR3C1、AR、および PGR による転写活性化を調節します。、PTM: PRKDC によってリン酸化されます。、類似性: POU 転写因子ファミリーに属します。クラス 2 サブファミリー。、類似性: ホメオボックス DNA 結合ドメインを 1 つ含む。、類似性: POU 特異的ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: NR3C1、AR、PGR、HCFC1 と相互作用する。、組織特異性: 普遍的。アイソフォーム 2 はリンパ球特異的。、

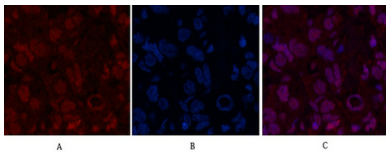
研究分野

-

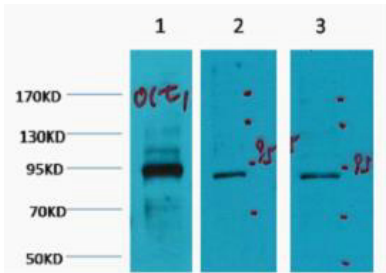
画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。1. Oct1 モノクローナル抗体 (7G1) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



ヒト乳がん組織の免疫蛍光染色。1, Oct1 モノクローナル抗体 (7G1) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



1) HeLa、2) Jurkat、3) HepG2 を 1:2000 に希釈したウエスタンブロット分析。